

# ULT通信

2016.6.21号 / vol. 64 発行 / ULT 図書館司書

1学期最後のULT通信です。

みなさん、1学期はULTを活用できましたか？  
忙しくて本なんか読めない(; ; )…そんなひとは  
夏休みに読書をしよう！ ULTに行こう！



**注意** 7/7 進学類型の芸術鑑賞会の日  
は閉館日に変更になりました。

7月							JULY							8月							AUGUST						
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
				1 テスト	2 テスト	×							×												×		
4	5 テスト返却	6 テスト返却	×	8 芸術鑑賞会	9	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
11	12	13	14	15	16	×	15	16	17	18	19	×	×	22	23	24	25	26	×	×	×	×	×	×	×		
×	19	20	21	22	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
25	26 終業式	27	28	29	×	×	29	30	31	×	×	×	×	29	30	31											

平日 9:00~16:00      土曜 9:00~14:00      × 閉館日

## 舞台は夏！ 名作小説

少年たちの夏！



## 1年生 キャリアガイダンス課題



## 2年生 修学旅行下調べ



少女から大人へ！ 夜祭の幻想！ Y'Y'Y'の村ー！

ULT前の広場が土だらけになっていることがあり、困っています。雨で湿ったグラウンドの土が靴の裏にくっついて広場を汚してしまうのかも…。靴の裏の土を落としてから、グラウンドを出るようにしましょう。

句おねがいのコーナー！

## 3年生 進路の情報収集



## ULT NEWS

### ●7/2 (土) 付録抽選会 <アニバーサリー月間イベント>

ULTの雑誌の付録や映画のポスターなどを、抽選でプレゼントします！  
6月中に本を借りると投票券がもらえるので、ほしいグッズに投票しよう。  
7/2 (土) に抽選会を行います。投票した人はULTに集合してください。



# 新着案内

5月の新着は78点です。一部抜粋で紹介します。

↓人気の小説・マンガ。続きが入りました。

タイトル	著者	請求記号
真夜中のパン屋さん：午前4時の共犯者	大沼紀子	913.6-オオ-5
教場 2	長岡弘樹	913.6-ナカ-2
からくさ図書館来客簿 第五集：冥官・小野篁と剣鳴る秋	仲町六絵	913.6-ナカ-5
3時のアッコちゃん	柚木麻子	913.6-ユス-2
幹事のアッコちゃん	柚木麻子	913.6-ユス-3
コウノドリ 13	鈴ノ木ユウ	726.1-スス-13

↓いろいろな働き方があります。

タイトル	著者	請求記号
女子高生社長、経営を学ぶ	椎木里佳、椎木隆太著	335-シイ
カフェオーナー・カフェスタッフ・パリストになるには	安田理	366.2-ナル-118
通訳ガイドというおしごと：仕事の始め方から技術を磨くコツまで	島崎秀定	689.6-シマ



↓こころが晴れる本があるかも。

タイトル	著者	請求記号
ブッタとシッタカブッタ 1: こたえはボクにある	小泉吉宏	159-コイ-1
ブッタとシッタカブッタ 2: そのまんまでいいよ	小泉吉宏	159-コイ-2
ブッタとシッタカブッタ 3: なあんでもないよ	小泉吉宏	159-コイ-3
置かれた場所で咲きなさい	渡辺和子	198.2-ワタ
だいじょうぶ!親の離婚：子どものためのガイドブック	ケント・ウインチェスター	367.4-Wi



## コラムdeレ

第64回は、高橋が担当です。今回のお題は「密かに愛してやまない本」です。

皆さんは、アメリカの歌手マドンナを知っていますか？2月にさいたまスーパーアリーナでライブがありました。ライブ開演2時間遅れ！というニュースで知っている人もいるかもしれません。前回の来日公演が10年前の東京ドームでした。もちろん行きました。「10年待ったのだから、たかが2時間遅れがなんだ」という気持ちでニュースを見ていた私です（怒る気持ちもわかりますが…）。翌日の公演はほぼ定時で始まったので良かったです（私はこの日に行きました）。次の日が月曜日ということで、そのあたりマドンナも空気を読んだのでしょうか。

今回紹介するのは、『マドンナ 永遠の偶像（アイコン）』です。著者はルーシー・オブライエン。



マドンナを取り扱った本はたくさん出版されています。アメリカ社会との関連や、たくましい女性像の象徴として、また、私生活にまつわる暴露本的な本も多いです。しかし、この本は彼女の半生を取り上げつつも、「音楽」にもしっかりスポットが当てられている貴重な本です。そもそも、私がファンになった理由は彼女の音楽がカッコ良かったから。正直、私生活には興味はありません。育った年代も国も違う、海の向こうの遠い人ですから。この本は、レコーディングを共にしてきたミュージシャン、プロデューサーなど100人を超える人物の証言をもとに書かれています。そこにあるのは、派手な衣装や演出、私生活で物議を醸すお騒がせなマドンナではなく、音楽でチャレンジし続けるミュージシャンとしての姿。ときどき失敗もしますが、そこがまた人間らしくて好きなんです。デビューから34年、いまだ現役。周囲の人のハートを掴む“何か”をもっている方なのでしょうね。

時に世界中を敵に回し、時に世界中を魅了する存在。私は日本の隅っこの司書ですが、人生で生きづらさを感じてきたとき、「なにくそ！」とふんばる気持ちをくれたのが彼女の存在なのです。まさに偏愛。共感なんてしてもらわなくて結構です。

次回のお題は、好きなものつながりで「ワタシのアイドル」にします。作中の人物、作家自身、本にまつわるものならなんでも可！